

セキュリティシステム導入事例

入退室管理から在室管理まで... そんな要望にも柔軟に対応する入退室セキュリティシステム

宮崎ケーブルテレビ株式会社

概要

宮崎ケーブルテレビ株式会社は、宮崎市と清武町をサービス地域としてケーブルテレビ事業、およびインターネット事業を展開するケーブルテレビ局です。平成8年に開局して以降、地元に密着した自主放送チャンネルの制作などを積極的に行いながら、事業を展開しています。

そんな同社の制作部 西原様・技術部 井上様に、セキュリティ対策についてご相談を頂いたのが、今回の入退室管理セキュリティシステム他をご導入いただくきっかけとなりました。すでに他のケーブルテレビ局様での導入実績もある本システムをご紹介したところ、このシステムにプラスして、社員様の在室管理まで行いたいとのことがございました。

そんなご要望にも柔軟に対応する本システムの導入経緯と機器やシステムの使用感などについて、西原様・井上様にお話しをお伺いさせて頂きました。



MCN 宮崎ケーブルテレビ株式会社



制作部課長 西原 義仁 氏



技術部課長 井上 稔 氏

システム導入目的は？

2004年の下期に、各部から招集した課長クラスのメンバーが中心となり『セキュリティ委員会』が発足し、当時の情報管理における脆弱性を徹底的に洗い出し、翌年より施行される個人情報保護法に沿った情報漏えい対策を検討しました。

本システム導入以前の社内では、不特定多数の人間の入室について、管理・監視体制が整っておらず、各人での把握に頼らざるを得なかったため、業務に支障の生じない(生じにくい)対応・運用が求められていました。

まずは、「個人情報を取り扱っている」という意識レベル

の向上が急務であり、身分証(カード)携帯の励行を進めると同時に、社員のコンプライアンス向上にも取り組みましたが、それだけでは情報漏えい対策としては不十分との結論に達しました。

最終的には、不審者侵入防止対策を取る必要があるとの判断を下し、社内への入室ならびに重要箇所(室)への入室管理を徹底するために最適なシステムの選定に入ることになりました。

本システム採用の決め手は？

2005年3月に東京ビッグサイトで開催された SECURITY SHOW 2005 で、出展・展示してある各メーカーのシステムを実際に見てまわり、MCN の運用(案)にふさわしいとおもわれる数社のメーカー(システム)を絞り込みました。

まず第一段階として出入管理・在室管理システムとネットワークを流れるデータの収集・分析ツールを導入することに

決定し、最終的には、九州内にサポートできるスタッフ体制が整備されている点や他のCATV局への導入実績がある点を考慮し、2社のシステムまで絞り込みました。

システム構成を比較・検討した段階で、コスト面での優位性や、仕様変更・追加が可能であるなど拡張性が高く、他のシステムとの連動ができる点も大きな決定要因となりました。(もちろん、熱意のある営業マンが前面に立ってのシステム構築のアドバイスがあった点も大きかった。)

当社との仕様打ち合わせにおいて、常に明確な回答が返ってきたことから、技術に裏付けられたスキルやノウハウを、会社としても保有していることがわかり、最終的には安心して任せることができました。

その一例として、警備会社の警備システムとの連動や、“これまでシステムとして事例がなかった”社員の在室管理表示機能を新たに追加し、当社の要望どおりにスムーズに構築して頂けたという点が挙げられます。

裏面に続く



上: 事務所内の壁に設置された在室表示モニター

下: 小型になった最新非接触ICカードリーダー



使ってみての感想など

システム運用の開始直後には、警備解除の操作などで戸惑う部分もありましたが、実運用の数日前に各社員にカードを配布し、セキュリティがかかっていない状態で操作練習(実際には、カード配布の際にカードを「入室状態」にしておき、最低1回は「退室状態」にするように指導。)を行う期間を設けていましたので、大きな混乱もなくスムーズに運用を開始できました。カード忘れにより社内に入れぬ社員が出てくるのではないかと懸念を持っておりましたが、これまでの所このような社員もほとんど出ていません。

また、現在では社員のセキュリティの意識付けが徐々に進んでいるようです。ある程度の移動制限(可能な限りゆるめにしてはいますが)があるため、セキュリティ的な面での自分の立場も各社員が意識しつつある状況です。

運用面を見ると、ゲスト用カードでは最小限の移動しかできないように設定しているため、部署によっては業務効率が悪くなっており、この点を考慮に入れて運用法と設定を若干変更する必要があるのではないかと考えています。使ってみないと分からない部分も多いと思いますので、良い点・悪い点を踏まえて今後、徐々に改善したいと思っています。



快くインタビューに応じて下さる西原課長

今後の取り組みについて

まずは、今回導入したシステムに社員が慣れること(無意識でカードを常時携帯すること)が先決だと考えています。

その後の取り組みとして、今回導入した入室表示をネットワークカメラ経由で社内PCから確認できるシステムを導入し、在籍確認の連絡を減らして業務効率を更に改善したいと思っています。また、印刷・コピーの氾濫を避ける必要があるため、カード認証による印刷制限・印刷物の管理を徹底するためのシステムを導入し、不用意な情報漏えいに対する予防策を講じる予定です。

さらに、最終形態としては、PCからのデータ流出・漏えい防止策を講じる必要があるとの認識で経営トップ陣からの指示を受けておりますので、社内業務全体の流れを把握しつつ、PCログオン認証システムやPC利用ログ収集・追跡(解析)ソフトの導入など、現在想定される情報漏えい対策を一歩ずつ確実に取り入れていく予定です。

ただ、ハードウェアの導入だけで情報漏えい対策が整うというものではありませんので、恒常的に社員のコンプライアンス教育を行っていく事が重要であると考えています。こちらは、ハードウェア以上にシビアなものであると考えられますので、e-Learningなどを含め、各自が業務に支障のない自由な時間で自主的に教育を受けられる体制作りを考えることが大事であると思っています。

今後も、情報漏えい対策をしっかりと講じることで、「安心のサービス」をお客様に提供していきたいと思っております。

導入システムご紹介

(出入管理・在室管理システム)

非接触 IC カード(Felica)を使った、出入管理システム。カードリーダーも小型になり、あまり設置場所を取らない点やそのシステムの構造上、増設や機能追加を行いやすい点もポイントです。(新たにゲートや機能を追加したいと言った時にシステム全体を入れ替えるのではコストがかさんでしまいます。)今回は、出入管理と同時に在室管理を行いたいとのご要望を頂きましたが、そのような要望にも柔軟に対応可能な頼もしいシステムです。

(NetDetector)

NetDetector は、ネットワーク上を流れるデータを収集し、TCP/IP を使った通信の解析やトラフィック分析、不正侵入検知等を行うことができる情報漏えい対策システム。通常ではありえない時刻の通信や、通常使っていないはずのプロトコルの通信などを視覚的に素早く発見することが可能になります。



(インタビューを終えて・・・)

今回は、システムの導入から運用に至るまでご担当頂きました西原課長、井上課長にお忙しい業務の合間をお借りして、同社が導入したセキュリティ対策ツールについてお話を伺いました。この中で、セキュリティシステムの導入に際しては、自社にとって最も必要となるものをよく吟味して優先順位を考えて導入し、また使いながら、更に強化すべきポイントを確認して次の対策を考えていくという地道な努力が必要なのだということを改めて実感しました。お忙しい中、快く記事の製作にご協力頂きました両氏に、この場をお借りして御礼申し上げます。

今回導入した製品

入退室管理総合システム



建物の入口からサーバールームまでトータルでセキュリティ対策を

ネットワーク情報漏洩対策



ネットワークの不正侵入検知からトラフィック分析まで

宮崎ケーブルテレビ株式会社

社名: 宮崎ケーブルテレビ株式会社
所在地: 宮崎市祇園2丁目119番地
TEL: 0985-32-8585
事業内容: ケーブルテレビ事業
電気通信事業 他
ホームページ:
<http://www.miyazaki-catv.ne.jp/>



当システムに関するお問い合わせは当社まで

株式会社 協栄エレクトロニクス

福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-1 電気ビル別館 サンセルコ4F
TEL: 092-761-6657 FAX: 092-761-4126
ホームページ <http://www.kyoei-ele.com/>